

試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません

平成 31 年度個別学力検査(後期日程)

# 小 論 文

(畜産科学課程)

試験時間 90分

## 注意事項

- 1 問題用紙はこの表紙と 2 枚目の白紙を含めて 3 枚です。
- 2 この問題用紙のほかに、解答用紙が 2 枚、下書き用紙（色のついた用紙）が 1 枚（両面）あります。
- 3 解答開始の合図の後、解答用紙の所定欄に受験番号を記入すること。
- 4 解答は、解答用紙の所定欄に記入すること。うら面に記入したものは採点しない。
- 5 問題用紙及び下書き用紙は、持ち帰りなさい。

( 白 紙 )

## 問題

北海道では近年、環境問題や自然災害による農畜産業への被害が多発しています。

例えば、2016年には4つの台風による豪雨災害で農地や畜舎が流出し、全国的にも馬鈴薯やスイートコーン等の供給不足が大きく報道されました。2018年には北海道胆振東部地震による大規模停電（ブラックアウト）により、酪農家では生乳の保冷が出来ずに大量廃棄が行われ、搾乳が行えないために乳牛の病気が発生しました。また、野生動物による森林や農作物への食害も大きな問題となっています。これらの環境破壊や自然災害は北海道の農畜産業や食品産業の経営に大きな影響を与えました。

あなたが将来、帯広畜産大学において学ぶことが、このような環境破壊や農業被害の対策にどのように貢献できると思いますか。あなたが実際に帯広畜産大学で学びたいと考えていることを想定して考えを1000字程度で述べなさい。